

一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるもので、9月定例会では15名の議員が一般質問を行いました。
 ここでは、議会広報委員会が事項別に整理した内容の一部を掲載しています。
 一般質問の全文は、11月下旬作成予定の本会議録に掲載します。図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

コロナ禍における市の取り組み

コロナ禍における市の取り組みについて、次の質問が行われました。

【教育環境の整備】

質問：学校で3密を回避するための教育環境整備の取り組み状況について聞きたい。
 教育部長：換気を行うこと、合唱や実習等のときは距離を離れて活動しない等の指導を行っているほか、給食の時間は全員が同じ方向を向き食べるようにしている。

質問：3密を避けるための分散登校について、授業を2回に分けて行うのは大変だが、子どもに寄り添った授業ができたか聞いた。
 先生から感想を聞いているか。
 同部長：分散登校で学校を再開したところ、現場からは、丁寧な指導をすることができ、児童・生徒の様子もよく把握できたと聞いている。

質問：学校に通うことが休校前に増して負担になったり、クラスや担任の先生になじめない不安を感じたりする子どもがいるのではないか。心細さを抱える子どもたちへの支援という視点から、自ら戸惑いや嫌だなど思っていることを周

健康福祉部長：県は、医療崩壊を避けるため、国の方針を踏まえて、重症患者は高度医療機関、中等症患者は重点医療機関、無症状・軽症患者は自宅や宿泊施設で療養してもらうことで病床の確保を目指す神奈川モデル(※)を構築している。

医療人材の確保については、厚生労働省の人材募集情報と求職者のマッチングサイトをホームページで紹介している。市は、県からの協力要請に対応するとともに、県の取り組みについて、ホームページなどを活用し、市民への周知に努めたい。

質問：不安に感じていることを、いつでも聞いてくれる存在が身近にいたることが大切である。学校の教職員が受け止めるほか、全児童・生徒対象の定期的なアンケートと教育相談センター、教育センターでの相談受付を実施しており、学校以外にも話を聞いてもらえる場所があることを子どもたちにも発信していきたい。今後も、子どもたちのわずかな声も聞き漏らさないという思いで取り組みを進めていきたい。

質問：ウイルスの克服に向けた闘いは長期に及ぶことが予想され、県の取り組みによつては、市民生活に直接的に大きな影響が生じる。県は、重点医療機関の設定、各病院の入院調整や受け入れ体制の構築、必要ベッド数や宿泊療養施設の確保、医療人材の確保にどう取り組んでいるか。また、市はどう関わるのか。

健康福祉部長：県は、医療崩壊を避けるため、国の方針を踏まえて、重症患者は高度医療機関、中等症患者は重点医療機関、無症状・軽症患者は自宅や宿泊施設で療養してもらうことで病床の確保を目指す神奈川モデル(※)を構築している。医療人材の確保については、厚生労働省の人材募集情報と求職者のマッチングサイトをホームページで紹介している。市は、県からの協力要請に対応するとともに、県の取り組みについて、ホームページなどを活用し、市民への周知に努めたい。

【避難所での対策】

質問：コロナ禍における避難所について、3密の回避のため、どのような改善、取り組み、課題があるか。
 防災安全部長：避難所となる市立小学校の学校長等と避難スペースを増やす調整を図った。また、市民に対しては、各種災害リスクを事前にハザードマップなどで確認すること、分散避難について広報している。今後の課題は、避難の長期化に備えた民間宿泊施設等との協力体制の構築、資機材の調達に関する各種協定の締結などと考えている。

質問：避難所で、密を避けることに加えて、プライバシーを確保するための資機材の整備状況はどのようになっているか。
 同部長：3密を避けるためのパーティションを20個調達し、各避難所に配備した。段階ボールベッドや目隠しとなる間仕切りは、協定により調達することでプライバシーを確保する。そのほか、消毒液、非接触式電子体温計、マスクなどを、感染症対策として配備した。

質問：在宅避難や親戚、知人家への避難所外避難者の居場所は、市としてどのように把握していくのか。
 同部長：共助の取り組みとして、自主防災組織等の協力を得て把握に努め、情報提供などの必要な支援を行っている。民間事業者等により、SNS、AIを活用した避難状況の把握の手法が検討されているため、情報収集、研究に努めていきたい。

質問：中小企業支援として、これまでどのような取り組みを行ってきたか。新たな取り組みはどのようなものがあるか。
 市民生活部長：売り上げが減少している中小企業への支援として、制度融資に関わる利子の補給金や信用保証料補助などの拡充、中小企業家賃支援補助金、飲食店支援クラウドファンディング事業などを実施してきた。今後は、市民による市内での消費行動を活性化させるような施策を検討している。

質問：2022年NHK大河ドラマが「鎌倉殿の13人」に決定したことは、コロナ禍で疲弊した鎌倉の経済活性化の起爆剤となること期待される。過去に舞台となった市では、独自のロゴマークを活用した商品開発等を行い、地域一体として盛り上げを図る取り組みがあるが、検討しているか。
 同部長：現在、観光協会、商工会議所などの関係団体と準備中の大河ドラマ協議会において、ITを活用した来訪者のデータの収集、混雑状況の発信、ゆかりの地を巡るコンテンツの開発、イベントの企画運営、独自のロゴマークを活用した新商品の開発などを地域と一体となって検討し、進めていきたい。

【用語の解説】

※神奈川モデル
 新型コロナウイルス感染症の拡大を見据えた現場起点的医療体制。神奈川県調整本部が、患者受け入れ・搬送等の調整を行い、医療崩壊の回避を図る。

2 本市のSNS上での誹謗中傷への対策について。
 12 竹田 ゆかり(無所属)
 1 「鎌倉版コミュニティスクール」について
 2 コロナ禍における子どもたちの「学びの保障」について(Ⅱ)

13 納所 輝次(公明党)
 1 コロナ禍を踏まえた鎌倉市の取り組みについて
 14 松中 健治(無所属)
 1 災害対策。崖崩れ、水害(過去の経験から)秋のインフルエンザを控えて、新型コロナウイルス(疫病対策)、疾病と宗教、経済。
 2 樹林と樹木と山林の活かし方。鎌倉古道の整備。
 15 大石 和久(公明党)
 1 岡本二丁目用地活用計画について

10 千 一(無所属)
 1 障がいの変化と福祉サービスについて
 2 北鎌倉のトンネルについて
 3 危険な空き店舗について
 4 鎌倉市立小中学校の諸問題についての新教育長への質問
 11 森 功一(自民党鎌倉市議員)
 1 2022年NHK大河ドラマを迎えるにあたり、本市の対応について。

4 【気候非常事態宣言】後の具体的な取り組みについて(SDGs目標7・11・12・13・17)(市民との協力体制・情報ネットワークのプラットフォームへの参加・再生可能エネルギーの調達・省エネ、性能向上、高効率化、緑化、ゼロウェイストの誘導策インセンティブ)
 9 武野 裕子(日本共産党)
 1 住宅問題・住宅困窮者の増加に関連し、行政の役割とまちづくりの視点
 2 生活保護世帯に対する下水道使用料免除廃止にともなう手当
 3 多世代交流、市民活動の場所に関する行政計画とまちづくりの視点
 10 千 一(無所属)
 1 障がいの変化と福祉サービスについて
 2 北鎌倉のトンネルについて
 3 危険な空き店舗について
 4 鎌倉市立小中学校の諸問題についての新教育長への質問
 11 森 功一(自民党鎌倉市議員)
 1 2022年NHK大河ドラマを迎えるにあたり、本市の対応について。

一般質問項目一覧

- 一般質問の録画中継映像は、こちらからご覧いただけます▶
- ① 伊藤 倫邦(自民党鎌倉市議員団)
 1 緑の保全及び災害に強い街づくりについて
 2 個人所有地よりの樹木管理について
 3 電線に引っかかった樹木の処理について
 4 天ヶ谷戸隧道トンネル安全対策について
 5 市道、県道道路、安全対策整備について
 6 消防職員の活動時の安全対策について
 7 マイナンバーカード交付状況について
- ② 池田 実(鎌倉みらい)
 1 コロナ禍における医療体制等について
 2 コロナ禍における市民への安全安心体制について
 3 マイナンバーカードの普及促進について
 4 本市の財政と行財政改革について
 5 深沢のまちづくりに関連した事業の現況について
- ③ 吉岡 和江(日本共産党)
 1 新型コロナウイルス感染症対策の課題について

- ④ 保坂 令子(神奈川ネット鎌倉)
 1 長期休校を経て迎えた新学期について
 2 GIGAスクールについて
 3 防災における県との連携について
 4 スーパーシティ構想の問題点と鎌倉市の取組み
- ⑤ 前川 綾子(鎌倉みらい)
 1 コロナ禍における教育の諸課題について
 2 災害への対応について
- ⑥ 安立 奈穂(神奈川ネット鎌倉)
 1 コロナ禍のいのちと暮らしを守るための支援について
- ⑦ 長嶋 竜弘(無所属)
 1 鎌倉市政に異論対論オブジェクションVOL.11~コロナ禍と気候非常事態による変化への対応~
- ⑧ くりはら えりこ(無所属)
 1 浸水リスクの見える化と防災策・救助体制について(SDGs目標3・11)(河川氾濫対策・救助体制強化・避難情報の伝達・安否確認の迅速化・過去の浸水被害と最大想定リスクを示す印と避難誘導ルート表示・避難の合図・逃げ遅れゼロ計画と避難力ルテの作成支援・広報)
 2 新型コロナウイルス感染症から考える教育環境の継続性について(SDGs目標3・4)
 3 セーフティネットと新規の公益事業の支援について(SDGs目標3・8・9)(食事支援・住居支援・企業支援・雇用支援・起業支援・地域力)

- 4 【気候非常事態宣言】後の具体的な取り組みについて(SDGs目標7・11・12・13・17)(市民との協力体制・情報ネットワークのプラットフォームへの参加・再生可能エネルギーの調達・省エネ、性能向上、高効率化、緑化、ゼロウェイストの誘導策インセンティブ)
 9 武野 裕子(日本共産党)
 1 住宅問題・住宅困窮者の増加に関連し、行政の役割とまちづくりの視点
 2 生活保護世帯に対する下水道使用料免除廃止にともなう手当
 3 多世代交流、市民活動の場所に関する行政計画とまちづくりの視点
 10 千 一(無所属)
 1 障がいの変化と福祉サービスについて
 2 北鎌倉のトンネルについて
 3 危険な空き店舗について
 4 鎌倉市立小中学校の諸問題についての新教育長への質問
 11 森 功一(自民党鎌倉市議員)
 1 2022年NHK大河ドラマを迎えるにあたり、本市の対応について。

意見書・決議

9月定例会では、次の意見書提出および決議に係る議案を可決しました。なお、可決した意見書は、地方自治法第99条の規定に基づき、関係機関に送付しました。

◇新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について
 ◇少人数学級の本格的な導入を求める意見書の提出について
 ◇性犯罪に関する刑法のさらなる改正を求める意見書の提出について
 ◇令和2年度鎌倉市一般会計補正予算(第7号)の執行に関する附帯決議について

可決した意見書および決議の全文は、こちらからご覧いただけます